



# 薬師堂の菩薩

月光菩薩 薬師如来 日光菩薩

薬師十二神将は薬師如来を護る護衛隊の将です。

一部隊は7,000名で、薬師如来の十二の願いにそれぞれ一部隊ずつが割り当てられています。

戦う相手は煩惱で、 $7,000 \times 12 = 84,000$ の煩惱を除くのが使命です。

また十二神将は十二支に割り当てられ、一日をそれぞれ2時間ずつ担当し、無事を守る役割もあります。この考えは薬師三尊の両脇にいる日光菩薩、月光菩薩が一日を半分ずつ担当し、薬師如来の手助けをする話から生まれたようです。

## 薬師如来さまの十二の大願

- 第一願 人々に正しく生きるための教えと術を伝えたい。
- 第二願 人々が正しく生きられるよう、健全な身体と潔白な心を授けたい。
- 第三願 人々が貧しい環境ゆえに「欲しい 欲しい」とむさぼらないよう救いとりたい。
- 第四願 人々が、偏見や思いこみでものごとを誤解し、そこから苦しみが生まれぬよう、常にものごとを正しく見られるようにさせたい。
- 第五願 法を守る心（法律のみならず、天地のことわり）を持てるよう正しい道に導きたい。
- 第六願 人々が物、心、身体、貧困のために人格が不正常にならないように正しい道に導きたい。
- 第七願 人々がもし病気になってしまったとしても、看護も、医療も、ベッドも、薬も、欠ける事無きよう治し、救いとりたい。
- 第八願 全ての人々が差別なく、真っ直ぐに修行して覚りを得られるよう正しい道に導きたい。
- 第九願 人々を悪しき環境から解放し、罪を犯さないように正しい道に導きたい。
- 第十願 人々がたとえ罪を犯してしまったとしても、その者の懺悔の声を聞いたならば見捨てる事無く正しい道に導きたい。
- 第十一願 人々がたとえ辛い境遇に落ちいったとしても、すさんだ心で悪を食らぬよう正しい道に導きたい。
- 第十二願 人々が住むところや着るものなどに不足して、寒さや暑さ、また食りの悪に悩まされぬよう救いとりたい。